

全6回
無料

経営者・技術者 必見！

デジタル技術活用人材育成研修

「デジタル技術活用」を担う人材育成に困っていませんか？

製造部門において、IoT 導入による生産性向上の取組が図られつつありますが、

製品の品質・コストを決定づける、設計・解析・測定を一連とした

デジタル技術の活用・後工程での問題発覚や手戻りが少なくなる

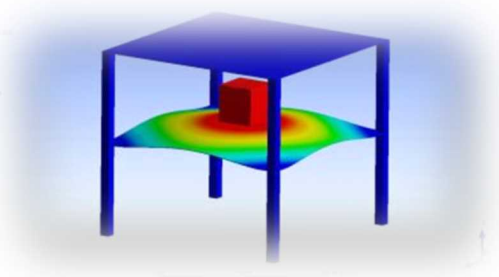
フロントローディング はまだまだ進んでいません。

そこで今回、人材育成を目的として CAD、CAM、CAE 等の研修を

全6回に分けて行います。全6回の連続受講により、デジタルものづくりの一連の概要を習得できる

カリキュラムとなっています。第1回、第6回については、特に経営層の方々にご聴講いただきたい

内容となっています。奮ってご参加ください。



1

設計の迅速化と設計の高度化について
ホンダロックにおけるデジタル技術を活用した製品開発

サイバネットシステム株式会社 栗崎 彰 氏
株式会社ホンダロック 多田 真和 氏

2

手戻りを撲滅する設計プロセスと 3D CAD 活用講座

① 設計概論編

龍菜 西川 誠一 氏

3

② 3D CAD 実習編

龍菜 西川 誠一 氏

4

原理から理解する CAM 入門講座

金沢大学 設計製造技術研究所 浅川 直紀 氏

5

～CAE の特徴と基本操作を実践で学ぶ～
一から学ぶ CAE 基礎講座

サイバネットシステム株式会社 松原 勇武 氏

6

DX 時代のデジタル・エンジニアリング

サイバネットシステム株式会社 栗崎 彰 氏

経営層
おすすめ

① 10月29日(金) 13:30～16:15 定員 60名 Zoomでも開催予定

② 11月15日(月) 10:00～17:00 定員 20名

③ 11月16日(火) 10:00～17:00 定員 20名

④ 11月29日(月) 9:15～16:15 定員 20名

⑤ 12月9日(木) 10:00～17:00 定員 20名

一般社団法人日本機械学会
公認 CAE 技能講習会認定証 対応

経営層
おすすめ

⑥ 12月10日(金) 13:30～15:00 定員 60名 Zoomでも開催予定

※ 会場は、すべて、大分県産業科学技術センター（大分市高江西 1-4361-10）です。

※ 新型コロナウイルスの影響によっては、オンライン研修となる場合もあります。

①	設計の迅速化と設計の高度化について ホンダロックにおけるデジタル技術を活用した製品開発
	・製造業におけるデジタル技術活用の意義、特に、設計製造のプロセス改良の技法として提唱されているフロントローディング設計の重要性とその中で果たす CAE の役割、また DX 時代を見据えた製造業三原則について講演します。 ・ホンダロックでは安心と安全に関わる 4 輪、2 輪部品の開発・製造をしており、開発段階でデジタル技術を活用することで開発品質の改善、向上に日々努めています。開発品質のみならず、開発コストへの効果性及び、デジタル技術を現場に根付かせる取り組みについて、デジタル技術の活用事例を踏まえながら紹介します。
②	手戻りを撲滅する設計プロセスと 3D CAD 活用講座 ① 設計概論編
	設計とは何らかの目的を実現するために、具体的な手段や方法を考えながら全体を統合していく作業です。機械・製品の目的やコンセプトを明確にすることから始めて、それらを達成するために必要な設計の目標値（仕様）を設定し、仕様を満たす具体的な構造や機構を考える、という「手戻りのない設計プロセス」について習得します。
③	手戻りを撲滅する設計プロセスと 3D CAD 活用講座 ② 3D CAD 実習編
	設計検証では「少ない手数で、手戻りの原因となる問題点を早く見つける」ことが重要となります。本講座では簡単な事例を例題に、3D CAD を使用しながら「モデリング 3 ケ条」に従って、設計で重要な部分からモデリングすることにより、早い段階で重要な機能の検証が可能となることを習得します。
④	原理から理解する CAM 入門講座
	CAD データ活用の一つとして CAM ツールがありますが、本講座では CAM の概略から始まり、工作機械にどのようなデータを与えればよいか、また CAD からどのように Gcode を作成するかといった CAM 活用に必要な基礎的知識のほか、演習を交えた実装例もご紹介します。
⑤	～CAE の特徴と基本操作を実践で学ぶ～ 一から学ぶ CAE 基礎講座
	講習会では、CAE に必要な基本的用語を理解いただくと共に、簡単な演習を通して、CAE の一連の流れを習得します。また、本講座は一般社団法人日本機械学会 公認 CAE 技能講習会（固体力学分野）に認定されており受講修了後には、受講証明書の発行も可能です。
⑥	DX 時代のデジタル・エンジニアリング
	昨今話題になっている DX について、そもそも DX とは何か？ 製造業における DX の最新動向とその効用についてをご紹介します。

- ※ 第 5 回については、一般社団法人日本機械学会公認 CAE 技能講習会（固体力学分野）に認定されているため、**修了者は申請することにより計算力学技術者（初級）の認定を受けることができます。**
- ※ さらに、計算力学技術者資格試験において、**2 級受験必須要件である「ソフトウェア使用経験」が認められます。**

———参加申込書（E-mail でお申込みください。 締切：10 月 15 日（金））———

企業名・団体名		住所	
TEL		FAX	
所属・役職	氏名 (メールアドレス)	○をつけてください。 (全 6 回受講希望以外は、該当箇所に○)	
	(@)	全 6 回受講 (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6) (1 Zoom ・ 6 Zoom)	
	(@)	全 6 回受講 (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6) (1 Zoom ・ 6 Zoom)	
	(@)	全 6 回受講 (1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5 ・ 6) (1 Zoom ・ 6 Zoom)	

◆お問合せ・お申込み先：

大分県産業科学技術センター 企画連携担当 清水

TEL：097-596-7101

E-mail：info@oita-ri.jp